

令和6年度 産業技術センターの利用に関するアンケート調査結果
産業技術センター利用企業の目的達成度は98.9%

群馬県立産業技術センターでは、令和5年度の依頼試験及び機器開放利用者（835者）に対して、令和6年5月～6月にかけて、アンケート調査を実施しました（回答数363者、回答率43.5%）。その結果、**利用企業のうち目的を達成できた企業の割合は98.9%**でした。ほぼ全ての利用企業にメリットがあったと考えられます。

また、**今後も産業技術センターを利用したいと考えている企業の割合は99.5%**でした。

産業技術センターでは、お寄せいただいた貴重な意見・要望等を踏まえ、今後もサービス向上に取り組んでまいります。

○調査結果

(1) 利用企業の目的達成度・今後の利用について

- 目的達成度は「十分達成できた」（70.7%）と「ある程度達成できた」（28.2%）を合わせると**98.9%**であった。

十分達成できた	70.7%
ある程度達成できた	28.2%
達成できなかった	1.1%

- 今後も「積極的に利用したい」（44.2%）と「必要のあるときに利用したい」（55.3%）を合わせると**99.5%**であった。

積極的に利用したい	44.2%
必要のあるときに利用したい	55.3%
利用したくない	0.5%

(2) 今後、強化・充実してほしいテーマ分野・機器整備について

①テーマ分野

機能性材料 31.3%、環境・エネルギー・GX 20.0%、IoT・AI・DX 15.9%、次世代自動車15.6%の順に多かった。

②機器整備

材料分析・試験 35.4%、機械計測・非破壊試験 23.0%、環境試験 17.4%、電子・電気機械 13.6%の順に多かった。

(3) 利用企業の業種・企業規模について

- 利用企業の業種は、「金属製品」、「電気機器」、「機械」の順に多かった。
- 利用企業の規模は、「中小企業」が90.4%、「大企業」が9.6%であった。

(4) その他、産業技術センターの取り組み姿勢等に対する意見・要望等について(自由記載)

- 試験・分析機器の充実や、研修会の開催を求める意見があった。
- 依頼試験や機器開放の料金、支払い方法に関する意見も見られた。